時事新報

九州鐵道と廣軌道にするの説

往時西洋諸國にて鐵道軌道の廣狹利害論を生じ或は仕來りし狹軌道を可とし或は又新式の廣軌道に左袒し一時其向ふの人の論柄と爲りしとありしが今日に至りては實驗上輿論の方向を一定して廣軌道論の方が獨り全勝を占むるとゝ爲れり蓋し鐵道創設の當時に在りては人間の思想も頗に發達す可きに非ず車と云へば先づ馬車の邊に心を寄せ從來の馬車を少しく廣くし又長くするなどの考にて汽車を構造せしが故に都て其仕組の小なるも謂れあるにあらず且ろの時代に歐米諸國の軍事殖産等社會萬般の事業は規模未だ甚だ大ならず隨て此社會の用に供する鐵道の如きも狹軌の組織を以て之れに應ずるとを得たりしならんと雖ども世事は進歩に打連れて鐵道事業も亦追々に進歩せるに隨ひ狹軌道にては迚も其用に應ずる能はざるとを發見して遂に廣軌道説に傾きたるものなる可し狹軌道論者の説にては廣軌道は之と敷設するに多くの面積と經費とを要して鐵道經濟上其宜しきに適するものに非ずと云々と主張するものゝ如し如何さま軌道廣ければ廣き程に其線路の面積も増し亦隨て之を敷設するの經費を増すは固より論を俟たざれども苟も鐵道と敷設する以上は鐵道堤は幅員に相應の餘地と存せざる可らざるが故に軌道の廣狹如何に因りて格別に其幅員を增減するの要もなく又六呎の軌道を敷設するよは三呎の軌道に倍するの經費を要すと云へる割合のものにも非ざれば敷設工事費用の一點より一概に廣軌道を擯斥せるは蓋し通論に非ざる可し之に反して今廣軌道の利益如何と云へば軌道は幅員の廣きが爲めに列車は据り方安全にして顚覆逸出は危險少なく列車の大なるに連れて車輪を大にするとを得るが故に汽車の速力を增もの便宜もあり軍國交通の都合より云へばイザ事ありと云ふに當りて武器銃砲等重量の荷物を運搬するとを得るの利益もあるが故に新に鐵道を敷設するの場合には何れの國にても大概廣軌道の制を採用し現に米國などにては軌道の幅員を四呎八吋とし濠洲地方にては之を五呎と定めたりと云ふ、事情此の如くにして世界各國追々廣軌道を採用する其際に我政府にては今度私立鐵道條例を發布して軌道の幅員を三呎六吋と定め即ち狹軌道の制を採られたり意ふに我政府中鐵道事業の局に當る人々は彼の狹軌道説は既に時候後れにして今日世界の鐵道論は孰れも皆な廣軌道を賛成するとを知らざるに非ざるならんなれとも我國にて今日既成の鐵道は孰れも狹軌道なるが故に今新に廣軌道を敷設して新舊線路の接續に不都合の尠少ならず此不都合を避けんが爲めには新設の鐵道も強て之を狹軌制に限るの外なし云々とて扨てこそ狹軌道を採用しふるもれおてもならんり誠に是非もなき次第にして今更議論も無用なれども我政府にて實は世界の通論に同じて廣軌道に左袒するの底意もあらんにはセメテ九州鐵道丈けも特別に廣軌道制を採用しては如何と思はるゝなり其向ふの人の説に據るに今後九州鐵道も成り山陽道鐵道も赤馬關に達したる處にて愛に一帶の海峽なり鐵道の兩端を接續せんとすれば其上に鐵橋を架けざる可らざれども此間潮流甚だ急にして距離も亦餘り近からざれば架橋の工事は先づ以て斷念せざる可らず或は氷の兩岸よ鉅大なる汽船を具へ置きて雙方より列車の到着するを合圖に其儘列車を搭載して互に彼岸に達するなどの工風は西洋諸國よて往々見聞する所なりと云へとも馬關の海峽に於て斯る手際を示することは中々容易ならざる可しとれ事あり果して然らんには九州鐵道は九州獨立の鐵道にして馬關海峽と踰ねて其列車を本地に移轉するとは蓋し望んで得べからざるとあらん斯くて鐵道區劃より視れば九州は獨立獨歩の區劃にして然らも今日まで未だ既成の鐵道もあらざるものありとすれば舊鐵道の軌道と目當てとして枉げて狹軌道の制を採用せるの必要もなく唯世界の實驗上に於て最も便利なる軌道制を考定して直に之と採る可きのみ但し我政府の筋よ於て今度狹軌道制と採用したるは別よ大に見る所ありしが故のみならず或は九州と本地との間にも容易に鐵道の聯絡と通ずるとと得べしとの成算もあらば我輩は更に其所説を勘考して重ねて所見を陳ずるの覺悟あれども若し左もなくして九州丈けは獨立の鐵道區劃と見做その意あらんには我輩はセメテこの鐵道丈けは文明諸國の鐵道に倣ふて特別に之れを廣軌道制に定められては如何んと敢て希望する所なり

官報

○官吏發着　西郷海軍大臣の一行は去る二十二日佛國マルセーユ出發○谷農商務大臣の一行は去月三十日英國リバープール港を發して米國に渡り本月二十五日紐育府を發し同三十一日桑港發ゲーリック號船にて歸朝の途に就くべき筈あり

○文部省沿革略記　（前號の續き）

六年一月令を府縣に下し各大學區中更に中小學の區域を分ち他日設立すべき所の校數及規則の概略保護の方法等を悉皆豫め其目途を審定して以て上申せしむ○是月文部省の經費更に百三十万圓を以て一年の定額とす去年に較ぶれば七十万圓を減ずるなり○是月文部省報告及文部省雜誌を作り教育漸く進むの狀を審にし或は教育に關渉せる外國諸新聞等を記載印刷して以て頒布せんことを議定す因りて從前刊行する所の文部省日誌を廢す

三月第一大區第二中學を第一大學區獨逸學教場と改む○是月理事官田中不二麿歐米より歸る尋きて文部大丞より進みて三等出仕に補す

四月令を下して從前區畫せし所の全國八大學區及大學本部を改定す第一大學區は東京府を大學本部とし第二大學區は愛知縣を大學本部とし第三大學區は大坂府を大學本部とし第四大學區は廣島縣を大學本部とし第五大學區は長崎縣を大學本部とし第六大學區は新潟縣を大學本部とし第七大學區は宮城縣を大學本部とす○是月東京常盤橋內の文部省營繕成れるを以て教部省と共に馬場前の地より移る○是月文部卿大木喬任參議に轉し文部省三等出仕田中不二麿省務を管理す○是月第一大學區東京第一番中學を更めて東京開成學校と稱し專門學科を置き法學理學工業學諸藝學鑛山學の五科を分ちて以て生徒に授く○是月第三大學區大坂第一番中學を更めて大坂開明學校と稱す

五月東京外國語學校を建て英佛獨魯淸の語學を授く○是月少督學以下の官員を派出して第一大學區を巡視せしむ○是月第五大學區長崎第一番中學を更めて長崎廣運學校と稱す

六月大少丞以下の官員を分ちて第三大學區より七大學區に至るまでを巡視せしむ

七月督學局一所を省中に設けて以て各大學區の務を監督せしむ

八月師範學校を第三大學區大坂及第七大學區宮城に設く○是月令を府縣に下し詳に委員及諸藥賣買の金額藥舖の數等を點檢して以て上申せしむ醫制を議定せんことを欲すればなり○是月督て招聘する所の米國博士大關謨（ダビッドモルレー）來至る是に於て乃ち任じて以て學監とす○是月製藥學教場を第一大學區東京醫學校中に設く○是月大少監を廢し更に大中少視學及學記の官を置き又大中小學教員の等級及學位の稱號を改定す博士學士得業生の三等を學位とす○是月東京開成學校開業の式を行ふ　聖上親ら大臣參議諸省長官を率ゐて之に臨む

十一月文部省三等出仕田中不二麿文部少輔に任ず○是月　皇后宮東京開成學校及東京女學校に親臨す○是月令を海外留學生に下し給するに官費を以てすることを停む其規則を改定せしに由りてなり

七年一月參議木戸孝允文部卿に兼任す

二月別に製作學教場を東京開成學校中に設く○是月師範學校を第二大學區愛知第四大學區廣島第五大學區長崎第六大學區新潟に設く

三月東京女子師範學校を設く○是月外國語學校を第二大學區愛知第四大學區廣島第六大學區新潟第七大學區宮城に設く○是月司藥場を東京府下に設く

四月大坂開明學校を更めて大坂外國語學校とす長崎廣運學校も亦此に准ず

五月參議兼文部卿木戸孝允其職を辭して免さる

九月文部少輔田中不二麿文部大輔に任ず

十一月文部省の事務を分ちて四課一局とし各長を置きて其責を專任せしむ

一を學務課と云ふ學校教師生徒等に關渉せる一切の事務を掌る二を會計課と云ふ省中一切の財務及外管各部の出納を查覈することを掌る三を報告臨時編集及雜誌印行等の事を掌る四を准刻課と云ふ出版准許の事務を掌る五を醫務局と云ふ衞生に關渉せる一切の事務を掌る從前の分課繁冗にして統理する所無きを以てなり○是月長崎醫學校の管轄を罷む

十二月東京英語學校を設けて愛知大坂廣島長崎新潟宮城の外國語學校を改め英語學校と稱す八年一月文部省一年の定額金又二百万圓に復す○是月文部省第一年報（明治六年分）成り上奏す○是月小學學齡を定めて滿六年より滿十四年までとなす○是月年報編纂表式を府縣に頒ち前年中學事の狀況を揭記して三月限り開申せしむ爾後每年此事あり○是月小學扶助金を附して一年七十万圓とし之を府縣に委托す○是月司藥場を京都府下に設く○是月博覽會事務局に合せし所の東京博物館書籍館小石川藥園又文部省に復す○是月東京小石川藥園を更めて小石川植物園と稱す

二月　皇后宮臨金五千圓を以て東京女子師範學校の學費を資く

三月司藥場を大坂府下に設く○是月東京開成學校東京醫學校官費生を改めて貸費生となす

五月文部省官等表中に編する所の教員等表を廢して直轄官立學校教員の等次を定む○是月貸費留學生規則及留學生監督事務程を定む○是月東京醫學校中に通學生教場を開き醫學の全科を修むる能はざる者の爲に三箇年を期し邦語を以て醫學の大意を教授す

六月督學局の官等を改定す○是月文部省管する所の醫務局及准刻課を以て內務省に附す

七月文部省官員三名を米國に遣り師範學科を研習せしめ又諸學科留學生徒九名を米國に一名を佛國に一名を獨國に遣る○是月更に中學師範學科を東京師範學校中に設く○是月文部省一年の定額金又百七十万圓となる

十一月政府文部省職制及事務章程を定む

十二月又督學局の官等を改定す

九年二月小學扶助金は本年七月より學齡子女人員分頭を以て配付することに定む○是月小田縣を廢し岡山縣に合併するを以て岡山縣を更に第四大學區に編入す○是月中督學野村素介をして第四第五大學區の學事を巡視せしむ爾後又督學局視學官をして學事を巡視せしめたることあり○是月從來文部省管理する所の編曆關係の事務を內務省に附す○是月文部省報告課編書籍取扱心得を定む

四月文部大輔田中不二麿米國費拉特費府博覽會の擧あるに由り教育事務取調の命を領して發航す因りて文部大丞九鬼隆一をして文部省事務を代理せしむ○是月文部省雜誌を改題して教育雜誌となす

五月文部省第二年報（明治七年分）成り上奏す

六月東京開成學校生徒十名貸費留學生の選に中るを以て八名を英國に二名を佛國に派遣す

七月文部省九年度の定額金百七十万四千八百圓となる

八月文部省所轄學校の學事年報は學年に依りて編成せしむ

九月鶴岡縣置賜縣を廢し山形縣に合併するを以て山形縣を更に第六大學區に編入す○是月　皇后宮東京女子師範學校に親臨す

十月東京醫學校中製藥生通學教場を設け外國語學を修むる能はざる者の爲めに修業期限を二年とし邦語を以て製藥學の大意を教授す

十一月東京女子師範學校內に幼稚園を開設す○是月東京醫學校を第四大區六小區本鄕元富士町一番地に移す

十二月文部省年報編輯例則を定め省內の事務等は會計年度により學區の景況及統計に關する條件は曆年によりて調査し且上奏の期限を每年十二月とす

（未完）（以上本年五月二十三日二十五日官報）

雜報

○淸國彙報　左の一篇は上海通信員の郵寄に係るものなり

本年新茶の景況　九江にては既に祁門寧州等見本茶箱數十字到着し淸曆四月十五十六日即ち西曆五月七日八日より開市せんとす本年は晴雨宜きを得たるを以て各山所產の茶、成育甚だ佳く茶汁も至て濃く香味も去年より佳美なり

贛州村の亂徒　江西贛州府屬縣に胡某なる者あり曾て軍功を以て武職銜を得て歸鄕せしより日久しきに縣令某は何か胡某に含む所ありてか其武職銜を僞稱すると疑ひ是非とも糾明せず胡某を捕へ獄に繫ぎしより人民爲に大に憤怒し縣廳を圍み暴力を以て胡某を奪回せり依て江西巡撫より縣令を召還し別に道台賀氏を遣し贛州府城に駐り水師を以て章貢江水雙流を扼守し復陸兵を要處に駐紮し士官を遣し胡某を召出せり然るに人民は既に聚合せる者二千餘人に及び胡某を推して主領とし命を聽かず而て官軍も不虞に備ふる者一萬餘人に及ぶと云ふ

鑄錢局　武昌省城に新設せし鑄錢局は建築既に竣工し爐を置く十架にして新鑄錢は表に光緒通寶と記し裏に滿州字を以て寶武の二字を記せり銅色にして形狀甚だ佳なり每日鑄出する所少なからずと云ふ

北京屋室の制　京城の屋室は皆煉瓦を疊み木材は唯楹に充つるのみ蓋し北方木材に乏しく煉瓦を用ゆるの廉なるに如かざればなり而して其構造多くは平屋にして層樓は至て鮮し是れ每に風威強く冬は冱寒烈しきが故なり室內よ炕を設け横長四五尺或は五六尺高さ二尺許、室の上に透光窓なく室南向せば南北墻に牖を作り牖、地を距る二三尺許、臥室土炕は牖下に作る牖、炕と相去る咫尺なり室內房舍墻壁倶に白紙を以て裱し屋上は高粱稭を以て架となし稭桁搆よ倒裂し紙を以て其下を糊

す之を頂棚と謂

內裱糊匠は甚だ

に懸る如し或は

し油漆する者は

に高麗紙を用ゆ

窓を糊す內より

裱糊は多く隔歲

にして春日と雖

と去り裱そるよ

仍繫くに紙と以

と禦く風砂の起

凡席の間之を拂

と設く棚は木を

磚を鋪ひ日光を

或は煤爐を用ゆ

て鼎立し其爐面

中人の家は一花

請ひ面會之一家

り讀書室或は客

是を廂房と稱す

り雜室後面多く

所なり即ち門內

を過ぐれば即ち

を安し主賓几を

分ち十數個椅

書畫を列懸し壯

親客と延くに便

經て別廳を設け

館殿立し大抵互

緻あるのみなら

す顯貴多く此に

室中に坑を設け

鴉片商等は閑居

之れに福字を觀

い居宅に歸り往

○大津通信（

中大津商工會議

、仲買、小賣人等

之を兩分し兩日

近々職工男女五

間も各機械を運

可なりと申すべ

茶桑の爲には必

長の盡力にて發

人お就ては英語を

め盛んに淸潔法

○書籍流行の沿

木琴事々物々一

に勢力を逞ふす

中には何所に影

極めるものゝ係

前より新刊書籍

十三四年頃は法

さる右書籍の回

取り能く種は書

の三四月頃より

籍が歸參を申仕

殊の外、殿の御

たる仲間の者共

を聞に至りまが

能立せるとを得

○書籍特別廉價發賣廣告

弊舖從來洋和書籍販賣罷在候處江湖諸君ノ御愛顧ヲ蒙リ日ニ月ニ盛大ニ赴キ難有奉萬謝候就テハ今回英米各國有名ノ小說類幷ニ獨逸書等澤山入荷仕候間

告　東京濁酒燒酎營業者諸君

曩ニ同業諸氏ト我カ營業ノ衰頽ヲ患ヒ之レヲ挽回センコトヲ企圖シ以テ永ク營業世積ノ目途ヲシテ鞏固ナラシメンカ爲メ一ノ組合ヲ設ケ府廳ヘ出願セシニ幸ニシテ今般御認可ノ恩命ヲ辱フス據テ同業者諸氏ヲ總會シ旁ラ

着荷廣告

久シク賣切ニ相成居候米國新發明ニユーラレキトルランプ到着致候ニ付澤山御用向之程偏ニ奉願上候也

●山口　友八

內國花樓ニ於テ

橋區南紺屋町首

世話人井上敬